



2022年4月21日

日本鉄道労働組合連合会

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第17回総会 新規加入12名を加えた新体制を発足！！



4月19日、JR連合の政策活動をはじめとする各種活動に賛同し連携する国会議員で構成された「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」が第17回総会を開催した。2年ぶりとなる総会には、榛葉賀津也会長や伴野豊新副会長をはじめ、衆参44名の国会議員と多くの秘書、JR連合執行部ら総勢約100名が参画。新規の議員の加入や新役員体制等が確認され、衆参58名（衆36名、参22名）の新体制が発足した。

<新規加入議員>

おおつき紅葉	衆・比例北海道(北海道4区)	【立憲】
松原 仁	衆・東京3区	【立憲】
梅谷 守	衆・新潟6区	【立憲】
伴野 豊	衆・比例東海(愛知8区)	【立憲】
斎藤アレックス	衆・比例近畿(滋賀1区)	【国民】
徳永 久志	衆・比例近畿(滋賀4区)	【立憲】
北神 圭朗	衆・京都4区	【無所属】
湯原 俊二	衆・比例中国(鳥取2区)	【立憲】
仁木 博文	衆・徳島1区	【無所属】
堤 かなめ	衆・福岡5区	【立憲】
渡辺 創	衆・宮崎1区	【立憲】
野間 健	衆・鹿児島3区	【立憲】

コロナ禍対応等の主要な政策、および組織課題対応を確認！

「持続可能な地域公共交通をつくるJR連合政策提言」を共有

その他の議案としては、JR連合が抱える課題として、コロナ禍の長期化により未曾有の経営危機が続くJR産業の回復と発展、ポストコロナを視野に入れた政策の展開や、JR北海道、JR四国及びJR貨物の将来に亘る自立経営に向けた道筋をつけるPT活動をはじめとする主要な政策活動内容を共有。さらには『持続可能な地域公共交通をつくるJR連合政策提言』の内容についても共有を図り、フォーラム所属議員が自らの地元等においても状況を確認しながら活動を展開していくことが要請・確認された。

また、今夏(7月)の第26回参議院議員選挙に向けては、改選期を迎えるフォーラム所属議員6名と、各産別からの支援要請に基づく組織内候補4名を「重点候補」と位置づけ必勝に向けた運動を行うことが確認された。

全ての議案に対し、満場一致の承認が行われ、新体制での船出となった。